

子ども司書だより

8月27日

第3回

レファレンスを極めよう！



↑演習のレクチャーを受けている様子。

8月27日(日)図書館本館にて、子ども司書養成講座第3回「レファレンスサービスってなあに？」を開講。

司書が担う仕事の中でも、特に専門性の高い「レファレンスサービス」。図書館を訪れる利用者の「調べたい」「知りたい」というご相談に応じるため、問い合わせ内容を細かく聞き取り、本を通してあらゆる情報を提供する。

講座では、「百科事典」を例に、調査に適した本について学んだ。「百科事典は調べ物の王様です。何かを調べるときには、一番最初に百科事典を見ましょう。」という教えのもと、百科事典の読み解き方について、懸命にメモをとる姿が印象的だった。

百科事典について学んだあとは、実際に本を使って演習問題に挑戦。テーマは大きく2つ。「SDGs」と「天気の不思議」



↑講座の内容をメモする様子。

「天気の不思議」の演習問題では、「台風とは何でしょう?」「エルニーニョ現象とはどんな現象?」など、小学生には聞きなれない用語も。「台風とハリケーンは一緒なのかな?」と、新たな疑問も生まれ、受講生同士で同じ本を広げながら、活発に議論が交わされた。

「SDGs」の演習問題では、「SDGsは何の略?」「SDGsを最初につくったのは誰?」等が出題され、子どもたちは熱心に百科事典やSDGsの関連図書を読み込んだ。



→実際にレファレンスの演習に取り組む受講生たち。

